令和５（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

キアンコウ日本海

対象水域	日本海（青森～島根）	参画機関名	水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、島根県水産技術センター

（1）調査の概要

・機構は生物情報の収集、大型桁網調査、標本船調査、各県漁獲情報の集約を実施
・各県は漁獲統計の収集を実施

（2）データ収集状況

各機関により、令和3年度評価で用いた情報に加え、以下の通り情報収集を実施
・青森県では主要21港の2021年以降の月別漁獲量を収集済み
・秋田県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・山形県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・新潟県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・富山県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み（＊1）
・石川県では主要10港の2011年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・福井県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み（＊1）
・京都府では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み（＊1）
・兵庫県では2021年以降の月別漁獲量を収集済み（＊1）
・鳥取県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
・島根県では2021年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み（＊1）
・機構は日本海北部海域における大型桁網調査、標本船調査、各県漁獲データの集約を実施中
＊1 アンコウが含まれる可能性がある集計値

（3）生物学的特性

(1)　分布・回遊：令和 3 年度評価報告書（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/report_2021_43.pdf、2023 年 11 月 20 日閲覧）を参照
(2)　年齢・成長：令和 3 年度評価報告書を参照
(3)　成熟・産卵：令和 3 年度評価報告書を参照
(4)　被捕食関係：令和 3 年度評価報告書を参照

（4）備考

・資源評価調査報告書については令和 2 年度に作成および公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/report_2021_43.pdf、2023 年 11 月 20 日閲覧）
・日本海西部においてキアンコウとアンコウが混在すると推察
・福井県をはじめ一部関係県では、知見（小林・河野 2006、遠藤 2018）を参考に、キアンコウとアンコウの割合に関する調査を、適宜、試験的に実施